

- 疫病の脅威と人間の反応
  - 北アフリカのオラン市 ― ペスト蔓延、街は封鎖
  - 
    登場人物
    - 主人公リウー医師ほか
    - それぞれの立場でペストと向き合う
    - ⇒ 死者が増えるにつれ恐怖と絶望が広がる
    - ⇒ さまざまな人間模様が浮き彫りに
- 連帯と責任の重要性
  - ペスト＝共通の敵
    - 次第に連帯の重要性に気づく
    - 衛生隊の活動
  - 
  - 困難な状況下
    - たがいに助け合うべき
    - 社会に対する責任を果たすべき
    - ⇒ 個人の責任と社会への貢献の大切さ
- 不条理と人間の尊厳
  - ペスト＝予期せぬ災厄 ― 人間の無力さを露呈
  - 「不条理」
    - なぜ苦しまないといけないのか？
    - その理由を見出すことができない
  - 
  - 屈しない人間の姿 ― リウー医師、タルー
  - 読者への警告 ― ペストはいつかまた襲ってくる